

24時間365日、安全で、円滑な高速道路へ

交通安全



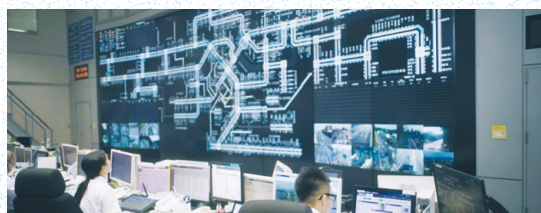
24時間体制での交通管理

24時間365日の安全・安心を守るため、道路管制センターと交通管理隊が、24時間体制で道路上の各種設備や道路巡回により情報を収集し、事故・落下物等への緊急対応やお客さまへの情報提供を行っています。

責任者の声 隊員の安全は、お客さまの安全

交通管理隊の業務は、本線上での事故対応など危険が伴います。入社後1ヵ月間の研修では、隊員一人ひとりの成長に寄り添い、短期間で自身とお客さまの安全を担保できる知識とスキルが身に付くプログラムにしています。また、安全確保の技術に加え、様々な状況におかれたお客さまに親身に寄り添える隊員の育成を心掛け、お客さまに安全と安心を届けられるよう、日々奮闘しています。

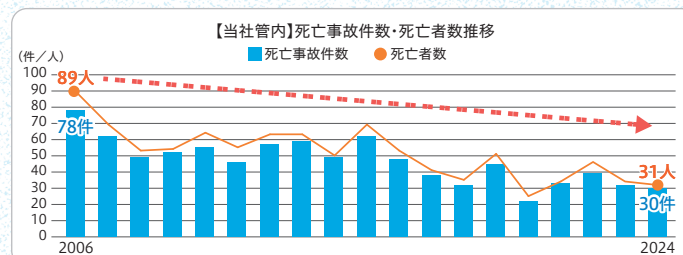
西日本高速道路/パトロール関西(株)
事業部 安全教育課 課長 西野 仁



高速道路走行中に落下物等の道路異常を発見した際は、
道路緊急ダイヤル #9910へ

安全運転の啓発

交通事故の根絶には、ドライバーをはじめとするお客さまのご理解・ご協力が不可欠です。当社グループでは、ステークホルダーの皆さまとともに、安全な高速道路を目指すため、高速道路内外での交通安全広報・キャンペーン等を推進しています。



死亡事故件数は徐々に減少していますが、未だ多くの尊い命が失われています。

SNDプロジェクト

—交通事故をゼロにするための危険運転撲滅プロジェクト—

当社と阪神高速道路(株)、本州四国連絡高速道路(株)、(株)エフエム大阪の4社共同で、高速道路での交通事故につながる「ながら運転」による危険運転を撲滅し、交通事故ゼロを目指すべく、「STOP! NAGARA DRIVING PROJECT (通称SNDプロジェクト)」を推進しています。



ともに行動・応援
していただける
サポーター募集中

メッセージ
キャンペーン
グランプリ作品



気になるなあ！見たいなあ！
でも本当にみたいのは
未来の私と家族の笑顔。

わき見・よそ見
しながら運転



疲れながら運転
居眠り運転など



間違いながら運転
逆走、不注意の運転ミスなど



イライラしながら運転
あおり運転など



逆走対策

高速道路での逆走は、死亡事故等の重大な事故につながる可能性が高く、正しく走行している車両をも巻き込む可能性のある極めて危険な行為です。「2029年までに逆走による重大事故ゼロ」を目指し、効果的な対策を見定め、高速道路での逆走事故の撲滅に取り組んでいます。

技術公募による逆走対策

逆走対策をより一層推進するため、技術公募を行っています。今後、道路上のカメラで検知し逆走車両及び順走車両に注意喚起する技術など、最新技術も取り入れた対策を行っていきます。

啓発用教材の一般公開

NEXCO 3社による「無くそう逆走」の取り組みでは、企業・団体や地域コミュニティにおける交通安全講習会などで使用していただける教材として、高速道路の逆走防止啓発の動画教材などをHPで公開しています。

- ・年間**80件程度**の逆走事案(事故または確保)※事故に至るのは10件程度
- ・65歳以上の**高齢者によるものが7割**近くを占める
- ・逆走事故は、死傷事故・死亡事故となる割合が高い
(高速全事故に対して、死傷事故**5倍**、死亡事故**40倍**)



過去の技術公募により採用した逆走対策



動画教材などは
こちら

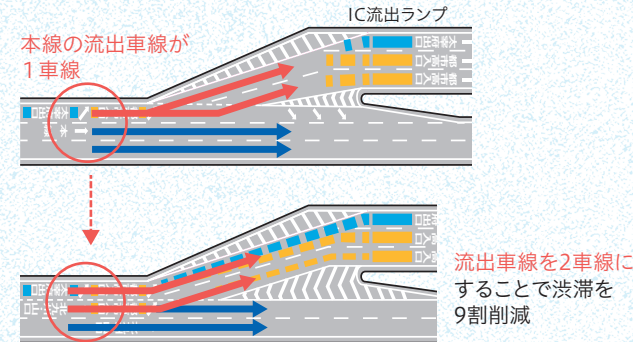


渋滞対策

ハード対策 渋滞しない道路を目指す

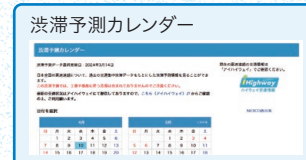
1. ネットワークの強化(P.31~38)
2. 車線拡幅(P.37,38)
3. 車線運用の変更
4. ETC利用率向上

渋滞状況を踏まえた車線運用の変更(太宰府IC)



ソフト対策 交通分散を促す

1. ウェブサイト・テレビ・YouTube等による渋滞予測の広報
2. ウェブサイト及びスマホアプリによるリアルタイム交通情報の提供(アイハイウェイ)
3. 休日割引の対象日からGW、お盆、年末年始及び3連休等を除外(P.43)



正面衝突事故防止対策

反対車線への飛び出しにより正面衝突につながりやすい暫定2車線区間では、区画柵の設置・検証を実施しています。区画柵を設置済みの箇所では、正面衝突による死亡事故が0件となりました。(2025年3月現在)



ワイヤーロープ



センターブロック



センターパイプ

降雪時の交通確保に向けて

基本方針 人命を最優先に、幹線道路上で大規模な車両滞留を徹底的に回避する

冬の高速道路の安全・安心を確保するため、上記基本方針のもと、凍結防止剤散布作業や除雪作業等、高速道路の安全で円滑な交通確保に向けて各種対策に取り組み、大雪時の雪氷対策の強化を図っています。

気象予測情報により大雪が予測される場合は、立ち往生車や滞留車が発生する前に躊躇なく通行止めを行うことを想定し、以下のオペレーションを基本として実施します。



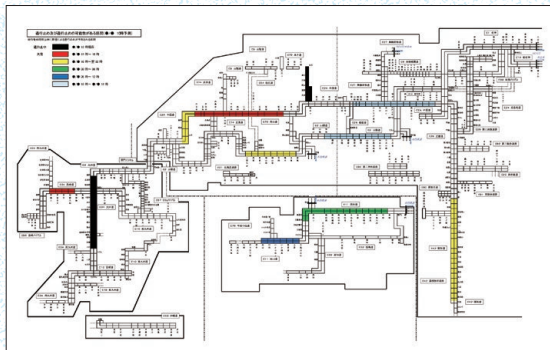
大雪時のタイムライン

大雪時のタイムライン

高速道路利用者への呼びかけ

段階	国・自治体・警察・気象台など	NEXCO西日本	記者発表	ウェブサイト	X LINE	高速道路影響情報サイト	テレビCM ラジオCM YouTube	道路情報板
1週間前	気象情報の共有など	通常の雪氷体制			冬装備 安全運転		冬装備 安全運転	冬装備 安全運転
3日前	情報連絡本部での連携	体制強化 ・応援派遣 ・協力要請 (災害協定事業者など)	大雪が予想される地域と時期 注意喚起・出控え・予想される通行止め区間			出控え (切替)		
1日前	大雪に関する緊急発表		通行止め可能性区間と時間帯 ※概ね6時間毎に見直し					注意喚起
降雪中	・情報の一元的収集・共有 ・関係機関での各種調整・協議 ・道路利用者や地域住民への 情報提供	立ち往生車・ 車両滞留発生前に 予防的通行止め 集中除雪	【通行止めの場合】 ・通行止め区間 ・作業状況・解除見込みなど					冬タイヤ装着/ チェーン携行 規制情報 通行止め等

概ね2日前から通行止め可能性マップを公表



スマホアプリやSNSでは、ライブカメラや現地の作業状況などを配信



お客さまご自身の命を守るためにも、「大雪に関する緊急発表」や「大雪警報」等が出されるような大雪への警戒が特に必要な場合には、不要不急の外出をお控えいただくとともに、広域的な迂回、出発時間の変更などをお願いします。

お出かけ前のお願い

- ・お出かけ前には最新の交通情報を確認してください。
- ・冬の高速道路は、冬用タイヤで走りましょう。
- ・タイヤチェーンは常に用意しましょう。

荷主企業・運送事業者の皆さまへのお願い

大雪の影響に伴う広範囲の通行止めが予測される際には、気象予測等をご確認いただき、広域迂回の実施や通行ルートの見直し、運送日の調整などのご協力をお願いします。

走行中のお願い

- ・雪道の走行では、『急ハンドル』、『急加速』、『急ブレーキ』は厳禁です。速度は控えめに、車間距離は通常時より多めにとりましょう。
- ・インターチェンジ入口や本線等に設置された情報板及びハイウェイラジオにより気象状況等をお知らせしています。目的地までの情報に注意して走行してください。
- ・凍結防止剤散布や除雪作業を行っている雪氷対策作業車とは車間距離を十分にとり、後ろをゆっくりと走行してください。

TOPICS

名神・新名神では初となる「予防的通行止め」の実施 (2025年1月～2月)

2025年1月～2月にかけて襲来した寒波の影響に伴い、名神・新名神及び並行する国道との同時の予防的通行止めを実施しました。国土交通省・NEXCO中日本・関係府県・警察など関係機関一体となった対応により、大規模な車両滞留等を回避することができました。予防的通行止めは物流などへの社会的影響が生じるものではありませんが、引き続き「人命を最優先に、幹線道路上で大規模な車両滞留を徹底的に回避する」という基本方針を遵守し、国民の皆さまへご理解・ご協力を求める広報活動を強化するとともに、当社グループ一丸となって通行止めオペレーションの検討をしてまいります。

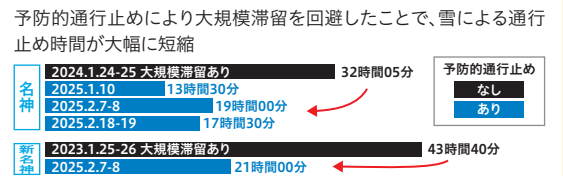


2025年2月4日～9日の大雪では、2月7日夜～8日夕方にかけて、名神(小牧IC～京都東IC)や新名神(四日市JCT～草津JCT)、並行する国道との同時の予防的通行止めを行い、大規模な車両滞留を回避

名神・新名神におけるこれまでの大雪対応

- 2023年 1月 大雪により新名神で大規模な車両滞留が発生
12月 関係機関とともに**広域的な雪害対応の方針を公表**
 - 2024年 1月 大雪により名神で大規模な車両滞留が発生
12月 **広域的な雪害対応の方針の改定を公表**
・通行止め基準の見直し ・通行止め区間の改善 ・行動変容を促す広報の強化
- 今後も継続して関係機関と連携し、対応方針の改善を実施します**

雪による通行止め時間(NEXCO中日本管内を含む)



運送業者の声 安全を最優先した運行計画が立てられるようになりました

従来は何か目的地まで向かうよう求められることがありましたが、事前に通行止めが決定されることで、無理な運行を避け、安全を最優先した計画を立てることが可能となりました。安全確保や業務の効率化にもつながっており、大変ありがたく感じております。

「お客さまの声」への投稿より抜粋

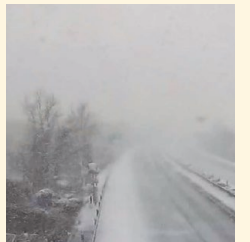


責任者の声 過去の教訓を活かした連携により、大きな混乱なく終えられました



2月7日～8日の大雪では、グループ一丸となって除雪対応をし、当事務所だけでも延べ320名・大型雪氷車両82台等が出動しました。3回に亘る名神等の予防的通行止め時は、過去事例に学び、関係機関一体でSNSや合同記者会見などによる積極的な広報を展開するとともに、事前準備や対策をしっかりと行ったことで、大規模渋滞などの大きな混乱もなく無事に乗り切ることができ、安堵しました。

関西支社 滋賀高速道路事務所 所長 溝口 淳司



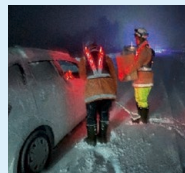
実際の降雪状況(名神 黒丸PA)

スタックによる車両滞留への対応事例

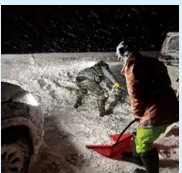
2025年2月7日15時35分頃、米子道(江府IC～蒜山IC)上り線で大車2台によるスタックが発生。すり抜けようとした大型車1台が更にスタック。通行止めとなり滞留車両が発生するも、乗員保護班総員約20名での対応等により人的被害もなく解消しました。



スタックした車両



滞留車両への物資配布



滞留車両の周りは人力除雪

責任者の声 人的被害の最小化に、グループ一丸となって取り組む

関係機関と合同による大雪立ち往生対応訓練などの事前準備により、通行止め20分後には滞留車両への物資配布を開始し、車線閉塞の原因となった車両の排除も迅速に行えたものの、滞留車両約100台の流出には約3時間半を要しました。一度滞留すると除雪などに長時間必要となり、お客さまの人的被害にもつながりかねません。スタック車を発生させないためにも、冬用タイヤ装着に向けた広報強化を行うとともに、早期通行止めなど、引き続き、グループ一丸となって人命を最優先とした対応力の強化を図っていきます。

中国支社 米子高速道路事務所 所長 光田 剛史

